

静私ふだより



- 夏の研修報告
- 各地の公園紹介
- 特集「園外保育と安全管理(その5)」日向崇紹
- 特集「今、改めて砂場を捉え直す(その6)」箕輪潤子
- コミュニティ(保育の窓)
- 街ぶらり・熱海市内
- もの想い(堀之内幼稚園・加藤学園幼稚園)
- 楽しくできるラクチン食育/末永美雪
- 健康随想/吉野友勝



NO.187
2019⑫
Winter

夏の研修報告

初任者（宿泊）研修

令和元年8月22日（木）23日（金）
掛川市のつま恋リゾート彩の郷で初任者宿泊研修会が行われました。今年も県内各地から22名の初任者の先生方が参加し、「みんなでスタートラインに立とう」というテーマで2日間の研修が行われました。

2日間ある研修は、開講式の後に高橋功先生（元常葉大学 准教授）「2学期に向けて」の講義から始まりました。この講義では、2学期に向けての心構えや、2学期からすぐに実践できる知識を聞いて学ぶことができました。午後は、山岸弘子先生（元NHK学園講師）「おさえておきたい基本のマナー」の演習と、大貫ななみ先生（蒲幼稚園園長）「いのち育むの活用について」の講義と、二木秀幸先生（静岡福祉大学准教授）による「表現あそびをたのしもう！」の実技研修がありました。マナーの演習では、社会人としての言葉遣いやマナーなどを、他の研修生とコミュニケーションをとりながら学びました。大貫先生の講義では、「いのち育む」の冊子に沿いながらのお話を聞きました。幼児教育に携わる者の心構えや、これから日々の保育の中で何が大切

になってくるのか、また様々な課題に直面した時どう乗り越えてゆけばよいか等、アドバイスを頂ける貴重な機会になりました。二木先生の実技研修では、全員が体を動かしながらリズムや表現を楽しく学ぶ内容の研修でした。研修生同士がグループとなり、互いに意見を出し合う場面もあり、どの研修生も楽しくそして真剣に話し合う姿が印象的でした。夜も集団でのゲームを通して、研修生同士がコミュニケーションをとりながら楽しく過ごすことができました。

2日目は、武田和子先生（掛川市f.a.n地域医療を育む会 会長）による「感染症対策」の講義を受けました。インフルエンザ等の感染症予防に有効な手洗いの仕方についてなど、日々の保育ですぐに役立つ内容のお話でした。また、松田直子先生（NPO法人e-lunch）「SNS・ネット等の利用マナーについて」



の講義では、SNSを利用する際に注意しなければならぬこと、またそれらをどう活用していけばよいのかを聞く機会になりました。最後は村田夕紀先生（造形教育研究所 所長）による、実技研修「かいたり、作ったりを楽しもう」でした。製作活動を行う際に大切なことや注意しなければならぬことを、研修生自身が実際に製作活動を行いながら理解することができた研修となりました。

これから幼児教育に携わる中で、ずっと心に留めていて欲しいことや明日からの保育にすぐに役立つ内容まで、幅広い内容を学ぶことができた2日間となりました。これからも1年目のフレッシュな気持ちを忘れず、日々の保育がより良くなるよう努力を忘れずに頑張っていってほしいと思います。



初任者インタビュー

しらゆり幼稚園 赤井智実



質問① これからの保育の中で、一番やりたい活動はなんですか？

子どもの感性や表現を伸ばす活動を行いたいです。私のクラスでは自由あそびの時間に廃材などで作った物をみんなの前で発表するというのが流れています。これをもっと保育活動に取り入れることで自分の言葉で気持ちや思いを表現する機会が増え、友達からの刺激も受けられると思います。このような活動を今後も保育に取り入れていきたいです。

質問② 子どもたちから教えられることはありますか？

新しい活動を行う際に不安がる子に対し、流れを一緒に繰り返し確認すると、次からは自分で考えて行う様子が見られました。また子ども同士で確認し合う様子も見られ、思いやりを持って関わる姿が見られました。子どもに寄り添い繰り返し行うことが自信を持って力を発揮できる活動に繋がって

いくのだと教えられました。

質問③ やっていて、「良かったな」と思った瞬間・体験は？

子どもたちが満面の笑みで「先生！」「大好き！」と言ってくれることや、一人ひとりの成長を感じられた時が私にとって大切な瞬間です。人前で話をするのが苦手な子が大きな声で発表できるようになったり、登り棒に登れるようになったりと、その子の課題としていたことができるようになった時は自分のことのように嬉しいです。

認定こども園清水白百合幼稚園 山田夏生



質問① これからの保育の中で、一番やりたい活動はなんですか？

私は0歳児の担当をしているのですが、0歳児の子どもたちが毎日を「この場所なら落ち着く」「この保育者となら安心する」と感じて生活できるようにしていきたいです。そのために一人ひとりのことを保育者同士で共通理解し、私自身の課題として、言葉かけ、表情、行動に気を配り、子どもと一緒

に楽しい時間を作っていきたいと思っています。

質問② 子どもたちから教えられたことはありますか？

何事にも一生懸命なところです。まだ会話はできないけれど、泣くときは一生懸命に泣いて何かを訴え、楽しいときは全力の笑顔を見せて、「楽しい」ということを教えてくれます。そのような姿を見て、子どもが悲しいときは私も全力で寄り添い、嬉しいときは声や表情などで心を込めて接していきたいと思いました。

質問③ やっていて、「良かったな」と思った瞬間・体験は？

乳児と日々を生活している中で、子どもの小さな成長を一番近くで感じることができます。そして、その育ちをクラスの保育者や保護者と話しながら共感できることが、私の喜びとなり、この仕事をしていて「良かったな」と思う瞬間となります。

こども広場あんり 柴 美惟那



質問① これからの保育の中で、一番やりたい活動はなんですか？

子どもたちとやってみたい活動はリトミックです。

私は音楽が好きなので音楽や色々な音に合わせて子どもたちと自由に体を動かしてリトミックの楽しさを共有したいです。自分の弾くピアノに合わせた活動に挑戦してみたいです。

質問② 子どもたちから教えられたことはありますか？

子どもは想像以上に私たち大人の観察をしています。私たちが普段子どもにしていることを友達同士でしている姿を見たとき、自分の行動や言葉遣いに気を付けなければいけないと思いました。子どもの手本になれるような保育教諭でいることを常に頭に保育をするべきだと感じました。

質問③ やっていて「良かったな」と思った瞬間・体験は？

仕事をしている中で一番の癒しが、子どもの愛らしい姿や笑顔を見た



時です。働き始めて自分に余裕もなく辛かった時、子どもがふとした時に見てくれる笑顔が私を自然と笑顔にしてくれました。子どもの可愛い笑顔が毎日見られるこの仕事に就いてよかったと感じています。



各地の公園ご紹介

東部

名称：沼津御用邸記念公園（ぬまづごうていきねんこうえん）
所在地：沼津市下香貫 202-1
問合せ先：沼津御用邸記念公園管理棟 TEL 055-931-0005
料金：入園のみ 大人100円・小中学生50円（幼児は無料です）
観覧料込 大人410円・小中学生200円（幼児は無料です）
団体料金（30名さま以上）
入園のみ 大人60円・小中学生30円（幼児は無料です）
観覧料込 大人260円・小中学生130円（幼児は無料です）
※観覧料をお支払いいただくと西附属邸の中を見学できます。

不定期で県内各地の様々な公園を紹介していきます。
各園のお散歩や遠足の参考にしていただくのもよし、先生方のプライベートにご利用いただくのもよし。
普段なかなか知ることもできない各地の素晴らしい公園を知っていただける機会になればと思います。

時間：9:00～16:30
駐車場：普通車 無料
バス・マイクローバス 2000円/台
車：東名沼津インター（新東名長泉沼津）から車で20～35分
電車：バス・沼津駅から伊豆箱根バスで約15分「御用邸前」下車（沼津駅南口のバスターミナル7番乗り場）

今回紹介する沼津御用邸記念公園は、駿河湾の最奥部に当たる沼津市島郷の海岸に面し、静かな松林に囲まれた一角に位置しています。

元々は明治26年に大正天皇の御静養のために造営され、昭和44年まで御用邸として使用されていました。公園内には歴史的建造物が保存されて、季節に合わせた四季折々の花々が咲き誇るなど多くの来場者が散策を楽しんでいます。季節



「陽」が見られるかもしれません。歴史を感じる園庭と季節の花々、そして駿河湾から富士山を拝める絶景を見に来てはいかがでしょうか。



の花の展示会や飾り雛の展示といった様々なイベントも行っており家族連れでも楽しめます。

また子どもたちが思いっきり遊べる芝生が広がった大きな広場があるなど、小さな子どもからお年寄りまで広い世代が楽しめる公園となっております。

そして帰る際には駿河湾の浜辺から富士山が拝める最高のロケーションとなっております。

今回ご紹介するのは、静岡市葵区音羽町にある清水山公園です。静岡市にある谷津山の西端に位置し、明治42年に開設されました。ちびまる子ちゃん電車で有名な静岡鉄道に乗って音羽町の駅を降り、北へ100m程歩いた所にあります。隣には昔から市民に《きよみずさん》の愛称で親しまれている清水寺があります。毎年7月9日には大きなお祭りもあります。

山の斜面を利用した展望台や滝・水車小屋があり、公園の山地を縦横に走るハイキングコースと桜並木は、静岡市の桜の名所にもなっています。今回は、公園と共に幼児でも楽しく歩けるハイキングコースも一緒にご紹介いたします。

中部

名称：清水山公園（きよみずやまこうえん）

所在地：静岡市葵区音羽町27
問合せ先：静岡市公園整備課
TEL 054-221-1433

料金：無料

時間：24時間

駐車場：無し

アクセス：静岡鉄道 音羽町駅下車 徒歩3分



境内も広く椎の木や榎の木がたくさんあります。護国神社は、国神社へ降りる道をお勧めします。



コースは、ハイキングコースは、幼児でも気軽に歩けるコースになっています。途中には静岡の街と八幡山、そして駿河湾まで一望できる眺めの良いところもあります。コースは沓谷に下りる道、護国神社に下りる道、そして愛宕神社へ続く道があります。



公園でひと遊びしたら出発です。しばらく行くと展望デッキが見えてきます。大きな滝を上から望むと、秋には紅葉、春には桜が満開の花を咲かせとても素敵です。

西部

名称：22世紀の丘公園
所在地：掛川市満水 1652
問合せ先：たまりな
TEL 0537-24-2722
料金：無料（ただし、室内施設「たまりな」内の施設利用の場合は別途問い合せ）
時間：24時間（「たまりな」は9:00～21:00 ※プール・浴室は10:00～21:00 最終入場は20:30 ※「たまりな」は火曜日休み
駐車場：約200台（無料）
交通機関：JR掛川駅北口よりバスターミナル「満水（たまり）線」で、「22世紀の丘公園」バス停下車（約20分）



今回は掛川市にある「22世紀の丘公園」を紹介します。この公園は広大な敷地を有しており、一日いても遊び飽きることはありません。公園には200台は収容できる大きな駐車場があります。公園内でまず目を引くのが、特大のコンビネーション遊具です。子どもたちに大人気の遊具は、登ったり滑ったり渡ったりと何度行っても楽しめる

遊具です。（※この遊具は6～12歳用です）小さな子ども向けの遊具もあり、幅広い年齢の子どもが楽しむことができます。



り、秋にはどんぐり拾いのスポットになっています。このコースは大人の足で30分ほどですので、のんびり歩いても十分余裕があります。護国神社からは、静岡鉄道柚木駅が徒歩3分です。是非、一度遊びに行ってみてください。



車：東名掛川インターより車で約15分
掛川バイパス「千羽（せんば）」インターチェンジ出口から、南方向に直進5分



また、遊具に隣接して約8000平方メートルの芝生広場や多目的広場もあり、大人数でお弁当を食べるのももちろん、これらの広場を様々な活動に使うことができます。他にも、いろいろな農作物を育てている「実りの里」と呼ばれるエリアや、公園内の森の管理の拠点である《森の里エリア》もあり、農業体験や炭焼き体験もできます。

公園内にある屋内施設「たまりな」には、温水プールや温浴施設・大小の研修室・多目的ホールなどがあります。こちらの施設を使用するのは有料となります。無料の休憩コーナーにはハイハイの子が遊べるスペース、売店やカフェもあります。

市内をはじめ、近隣の幼稚園・こども園もよく利用することがあります。また休日には子ども連れの家族でにぎわう大人気の公園です。

園外保育と安全管理

◆◆生き物を知識としてだけでなく
体験を通じて学べる機会◆◆

体験を通じて学べる機会

動物編3

身近に存在する...

全国的各地にどこにでもダニは生活していますが、これまで幼稚園の園外保育での現場でダニについて質問されることは多くはありませんでした。子どもたちに見てもらえず、保育者たちからも意識をされないダニたちは、怖がらせる話ではなく本当にいつもすぐそこにいます。室内のダニの存在は、食品保管方法や虫刺されなどで、人間の暮らしの中にとつての「害虫」として知られていますが、ひっそりとその小さな体で自然環境のなかで暮しているダニについては、ハチやヘビと比べたら想像されたりクローズアップされることは確かに少ないでしょう。しかし、ダニの一種のマダニについて7、8年前からニュースで取り上げられるようになったのは、あるウイルスが特定されたためでした。

ダニより大きいマダニの興味深い生態

世界には約5万種いるダニは昆虫の

仲間ではなくクモに近い種類で、あぜ道などの里山だけでなく畑や都市公園でも生息しています。ほとんどのダニは無害で小さい生き物ではありますが、感染症の危険があるマダニの種類は日本国内で42種。さらに静岡県内に絞ると17種が記録されています。

そもそもマダニであると見分けるには、8本脚であることと頭部・胸部・胴部の全てが一体になっていることなどですが、マダニはダニの仲間のなかでも大きく、陸上の脊椎動物に寄生し吸血するという特徴があります。ダニの成ダニは大きくても1mm程ですが、マダニは吸血前の幼ダニでも0.7mm、成ダニで1.5mmとあり、自分の体重の100倍以上の吸血量を吸い取ることができ、なんと1cmを超えることが普通です。マダニやツツガムシなどが吸血し感染症を引き起こすウイルス・細菌やリケッチアと呼ばれる病原体を媒介する生き物なので、到底無視することはできません。対処が遅れると重篤化し死亡事故となることがありますので、

今回の特集に加えることにしました。

マダニたちの一生は一期一会を大切にしているような生き方なのか、幼ダニから成ダニと大きくなって成長してくライフステージ毎に、野生のげっ歯類（ネズミ）やウサギ・シカなど自分の成長過程に応じた大きな宿主となる動物を待ち構えては吸血します。ペットのイヌが吸血されることもあれば、家畜動物ももちろんターゲットとなります。また獣害報告で話題になるシカやイノシシが増加している地域では、それらに寄生するマダニも増えて、人間が吸血される可能性が高い地域ということにもなります。



す。

ダニが活発になる春から秋を中心に寄生されることが多いのですが、地域やマダニの種類によっては春と秋のみ活発になるパターンもあるようです。マダニの仲間たちは足先に「ハラー氏器官」と呼ばれる特殊な器官をもち、人や動物の吐いた息・匂いや体温などを感知しては、植物の葉の上などで（健気に）待ち伏せて乗り移ってきます。日本紅斑熱やツツガムシ病といったこれまでよく知られたものもありますが、近年ニュースで取り上げられその致死率の高さが問題視されているのが、中国で2009年から原因不明の感染症として発生し、2011年に特定されたSFTS（重症熱性血小板減少症候群）ウイルスです。例えばキチマダニやフ



ひゅうが たかつく

日向 崇紹

自然案内人

子どものための
自然体験アドバイザー



タチゲチマダニがそのウイルスを保有している場合があります。国内では2013年以降、西日本中心に発症が確認されてきました。静岡県内ではSFTSウイルスによる死亡事故はないものの、県東部で今年7月にマダニに咬まれ日本紅斑熱での死亡事故がありました。マダニに吸血されて感染した場合、早いと数日後から1〜2週間後に発熱・倦怠感・吐き気や下痢などの症状がでます。残念ながら有効な治療法は現在SFTSウイルスについて確立されてないので、解熱などの対症療法しかありません。また、飛沫感染や空気感染の力はないですが、感染した人の体液に触れたというケースでヒトからヒトへの感染の記録があり、2017年にはなんと飼い犬からヒトへの感染があったという報告もありました。致死率約20%が公表されていますが、実際は30%以上なのではと言われています。しかし、すべての種類のマダニが危険ではなく数種類のマダニに限られ、全国平均で10%前後がウイルスを保有しているという調査結果がありますので、マダニに吸血されると必ず感染するということではありません。

完璧な予防方法はない

忌避剤（虫よけ剤）として2016年に規制緩和された高濃度のディートや、ドイツで開発され日本で認可されることとなったイカリジンといった二種類の有効成分どちらかが入ったものが市販されていますが、衣服へのダニの付着を完全に防ぐことはできません。また、ディートは12歳未満の人体

に高濃度の成分は使用禁止、成分自体が6ヶ月未満児には使用禁止との注意事項があります。余談ではありますがディートは人体への影響以外に、プラスチックや化学繊維の衣類を腐食させることもあります。また、ベタつき感があることや、独特の匂いがあり（忌避剤として使用したために）特定の匂い物質に敏感なスズメバチが反応してしまふ恐れがあるのではないかと仲間の自然案内人たちの話を聞いたこともあります。しかし、ディートのメリットは忌避できる生き物の種類数がイカリジンよりも多い点が挙げられます。園や保護者の考えによっては、オーガニックな虫よけ剤を勧めていることもあり、救助する側になるであろう保育者のみにディート入りを使用するなど、現状や目的に沿って忌避剤を有効に使用するべきだと考えます。



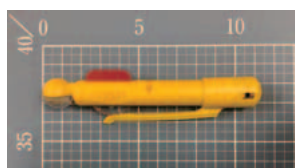
画像提供：鳥居高明

行事や活動の内容によって確実に野山に入って活動する時には、肌の露出を限りなく抑えた服装で、首にタオルなどを巻き込んでシャツやズボンの袖などを軍手や長靴の中にしまっておくことが望ましいです。予防として重要になるのが目視による確認で、吸血の早期発見をするために園に帰ってから保育者同士や子どもたちの刺されやすい足などの肌を保育者の目で確認しておくのがよいでしょう。（可能なら着替えてシャワーが最善）

マダニは皮膚の中に向かって潜るように口を突き刺して、数日経

てばその腹は膨れ上がりますが、画像にあるような初期の段階で見つけて対処された方が心的ストレスも少ないと思います。しかし、足首や膝裏といった皮膚が薄く柔らかい下半身部分が狙われるので、咬まれた本人はすぐに見つけられないようです。ある女性保育者の事例2件は膝裏に近いふくらはぎ部分の吸血でしたが、友人の男性の林業関係者はなんと睾丸の裏で吸血して大きく膨らんでいたということなので、この上なく（マダニ切除のことも含めて）恐ろしく思います。

一拭の対処



マダニを除去するティックリムーバーの器の例

マダニが肌や服に付着していた場合はガムテープなどの粘着テープで除去をして、もし肌を咬まれて間もないタイミングと判断できたら、市販のティックリムーバーを使用して除去できます。しかし、現地で処置の道具など何も準備がされていなかった場合、爪先で弾き飛ばすというある研究者の（自己責任な）話も耳にしたこともありましたが、判断を誤ったり処置を失敗すると、皮膚に食い込んだ口下片と呼ばれる部位が引きちぎれて体内に残ってしまうとひどく化膿してしまい状況を長期に悪化させてしまいます。経験が少なく困った場合は、一週間ほどでポロッとマダニ自身から離れてくれるまで待つ（実際そんな気持ちになれません）、現地で何もせずに皮膚にマダニが付着したまま医療機関で除去されることを強くお

勧めします。咬まれて数日の潜伏期間を経たようなタイミングや、咬まれていたことに気づかず原因不明と思われる高熱などが発症した際は、医師の問診時に数日前に野山に入った事実を忘れずに告げておきましょう。

静岡県内でのマダニが原因の感染症の発症は県東部の高齢者ばかりで、脅威に感じないものとして認識されている園や保育者が多数の現状だと感じます。各園で前例がなかったために子どもへの体調不良の要因の一候補として、園外保育で野山などに入りマダニに吸血されたことが原因かもしれないと想像できると早期の対処につながるのので、緊急度は高くないですが安全管理の項目としてマダニについて記載しておきたいものです。

※文量の都合上、植物編（草花遊び）などは、生き物の飼育についてを加えて次回お伝えします

自己紹介 日向崇紹

常葉大学にて教育学・自然環境復元について学び、現在は児童福祉施設の長として勤める傍ら、総合学習（自然環境）の支援、幼稚園児の自然遊び・生き物探しや、保育者対象の園外活動の指導・危険な動植物・ケガの対処等の講座を開催。日本環境教育学会員、静岡市環境学習指導員。また野外や災害時に特化した海外の救命法や小児専門の救命救命法、日本山岳ガイドなどの資格取得の経験がある。山梨県生まれ、藤枝市在住。

※講師依頼等のお問い合わせ先はEメールからお願いします ↓ children-nature@au.com

今、改めて 砂場を捉え直す

砂場を通して子どもの育ちについて考える



武蔵野大学
教育学部准教授

箕輪 潤子

専門は幼児教育学、保育学。
著書に『遊びがもっと魅力的になる3・4・5歳児の言葉かけ(砂場編)若手保育者の指導力アップ』(明治図書)等。
現在、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構において研究委員として「砂場における幼児の育ち」をテーマに研究を実施している。

今回で6回にわたる「砂場」の連載も最後になります。連載の最後の回として、砂場を通して子どもの育ちについて改めて考えてみたいと思います。

全国の幼稚園の砂場で遊ぶ子どもの姿から

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の砂場研究チームの中間報告書が出ました。私立幼稚園はそれぞれの教育方針や特色を持ち、教育環境も教育内容も異なりますが、砂場だけは殆どの園にあるからこそ、環境の違いを超えた幼稚園での子どもの育ちが見られるのではないかとということで始まった研究です(報告書は、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構のホームページからダウンロードできます)。

全国の私立幼稚園から送っていただいた砂場の映像や記録について、様々な視点から分析・検討を重ねていくなかで、環境の違いを超えて共通する子どもの育

ちや、この時期にどのような経験をしているのかということが明らかになってきました。また、砂場の環境が園によって大きく異なること、また年上の子どもから年下の子どもに伝承されていく遊び方があること、そのことによって生まれる各園独自の遊びがあるということも見えてきました。

各園が子どもたちのために用意している環境が、子どもの動きや子ども同士のかかわりを作り出し、子どもが感じることに、気づくこと、考えること、



工夫すること、試行錯誤することなどの経験と結びついています(連載第4回砂場の環境参照)。また、子どもと一緒に遊び、遊びの指導・援助をする保育者が、各園の砂場の環境を生かしながら構成し、子どもと環境をつなぐことにより、子どもの遊びは経験や育ちへとつながっていくのです(連載第5回保育者のかかわり参照)。

各幼稚園が子どもの育ちを願って構成した環境が、子どもの育ちにつながっていくのだと実感することで、幼稚園の先生方にも、砂場の環境やそこでの子どもの姿に、より一層目を向けてみていただけたら...と思うようになりました。砂場だけを見てくださいたいわけではありません。改めて砂場の環境や子ども様子を見直してみることが、実は園全体の環境を見直すこと、様々な遊びや活動における子どもを見る

目や指導・援助のあり方をさらに考えることにつながっていくのではないかと思います。

静岡県の幼稚園が行った砂場研究

そのようなことを考えていた時に、青森県の八戸市にある幼稚園の園長先生から『幼児の社会性が砂場においてどのように発達したか』という報告書を見せて頂く機会に恵まれました。

なんとその報告書は、60年程前の昭和33年、34年度（1958年、1959年）のものだということに加え、静岡清水幼稚園連絡会社会領域研究部第2グループ、つまり静岡県の私立幼稚園の研究だったのです。静岡と青森の幼稚園の園長先生に交流があつてこの報告書が贈られ、大事に保管されていたということでした。

その報告書では、11園が3つのテーマに分かれ、各園で砂場研究に取り組まれています。60年程前の子どもたちの姿ですが、まるで現在、目の前で遊んでいるかのように生き生きと描かれており、幼稚園の先生が



砂場で遊ぶ子どもたちに、温かいまなざしを注がれていたことが伺えます。

内容について少しご紹介しましょう。第一のテーマ「砂場遊びの種類別によるグループ活動」では、子どもが一年を通じてどのような遊びを行っているのか、そして何人くらいの人数でどのようななかかわりを持つているのかなどが検討されていました。第二のテーマ「砂場における園児のつながり」では、子どもの年齢によって子ども同士の間わり方が異なることがエピソードで書かれたり、砂場以外の遊びや活動のなかで経験したことや家庭や社会のニュースなどの影響を受けたことが遊びの中にでてきていることが書かれたりしています。

第三のテーマ「仲間に入らない子・砂場の好きな子・けんかの原因と経過」では、砂場で起こる喧嘩の原因（子どもの人数に対して砂場が狭い、仕事のしづりが下手なために側の友達に迷惑をかける、仲間同士の約束を理解できない）を検討しているものや、砂場遊びが好きな子ども2人がなぜ砂場遊びが好きなかを観察して（最初は心を満たすためだったのが、砂場で遊ぶことそのものをたのしむようになった）検討しているものなどがありました。

2年間にわたる研究のテーマを砂場に設定し、最初はどのように研究したらよいかと戸惑っておられた様子も伝わってきましたが、月を経ることに盛り上がりつついく砂場遊びの様子と共に、研究のおもしろさへと変わっていったことが感じられました。同じテーマ



であっても共通の視点に加え、各園の子どもたちの姿をみて生まれた独自の課題や視点から分析に取り組まれています。

「いつもの芽になるように」

研究報告書のまとめの文章には「この研究をしたことで」保育活動全体の中に一本筋を通し得たように考えます。これが基盤となって今後お互いの歩みの中にさらに幾つもの別の芽がでていくとしたならば、その時この研究ははじめて成功したものと言えましょう」と書かれています。各幼稚園が子どもの姿をじっくりと観ることを通して、改めて子どもの育ちを考え、つなげていこうとするその思いは、幼児教育に関する様々な動きがある今だからこそ重要なものではないでしょうか。

この静幼幼だよりで、砂場についての連載の機会を頂きましたことを心より感謝しますとともに、少しでも砂場の魅力が伝わったならば幸いです。砂場がどこにでもある時代ではなくなりつつありますが、私立幼稚園には必ず園庭（法的には運動場）があり、どの幼稚園にも砂場があることと思います。これからも、各園の砂場での遊び、幼稚園での遊びや活動が大切にされ、さらに豊かなものになっていくことを願って、連載を終えたいと思います。





子どもたちが私の元気の源

島田南幼稚園

鈴木志野

子どもたちの前に先生として初めて立った時の緊張は今でも覚えています。私は四月から学級担任をさせていただくことになり、クラスの子どもたちと初めて顔を合わせた時、「私がこのクラスの先生なのだ」と

いう実感が湧いてきました。毎日充実していましたが覚えることが多く、失敗の連続。目の前のことで精一杯になってしまい、だんだん余裕がなくなってきました。

子どもたち一人ひとりと向き合うことがなかなかできず、自分が情けなくなり涙した日もありました。先輩たちは、子どもたちに対し上手に指示を出しクラスをまとめているのに、私は子どもたちに伝えたいことがうまく伝えられず、教えることの難しさに悩んでいました。そんな時、先輩の先生



が「子どもに伝える前に何をどのよう教えるのか分かっていないと子どもに伝えられないよ。よく流れを整理して楽しく分かりやすく伝えよう」といよ。その時の子どもたちの様子をよく見て記録していくと次の保育に繋げることができるよ」と助言してくれました。

九月、運動会の練習が始まり年中

組ではバルーンの練習に励んでいました。最初は子どもたちが技の流れを理解することや息を合わせることに全くできず、私は焦って知らず知らずのうちに強い口調で指導してしまいました。練習後も、どう教えたら上手にできるようになるか必死で考えているところに園児が「先生頑張っているから褒美あげるね!」と言って折り紙で折ったハートをくれました。私は、

子どもたちが私のことをよく見てくれていることに驚くとともに、その優しさに胸が一杯になりました。そして、少し肩の力が抜け、焦ることをやめ、だんだん落ち着いて考えることができるようになりました。

最近では、子どもたちと過ごす中で子どもたちの成長に気づき、心から楽しいと思うことが増えてきました。子どもたちのおかげで未熟な私も先生として少しずつ成長させてもらっています。今は毎日が学びの日々。子どもたち、先輩の先生方への感謝の気持ちをエネルギーに変えてこれからも頑張っていきたいと思っています。

小さいころからの夢をかなえて:

アイ・アイ学園
有度幼稚園

青木美里

私の幼い頃の夢は、自分の通っていた幼稚園の先生になることでした。理由は、行事一つ一つに思い出があり、優しく接してくれた先生が大好きだったからです。高校、短大と進み実習等を重ねる中で、その思いは自分がしてもらったことを今度は自分がしてあげたいという思いに変わりました。そして今、本当に母園に就職し先生として子どもたちとかわる毎日をとても嬉しく思っています。私は、年少のクラスを二人で担任しています。最初の一か月は、



一日生活するだけで精いっぱい、予想もつかない子どもの言葉に、どうすべきなのか適切な判断もできない自分にもどかし、こんなことでもいいのかなと悩み、心にも余裕が持てませんでした。それでも、子どもたちは「みさとせんせい!」と笑顔でとびこんで来てくれたり、入園当初泣いていた子が、泣かないで登園できるようになったり、一人でできなかったことができるようになっていく姿を間近に見ることができ、子どもから元気をもらって頑張ってきました。

そのような中、とても悩んだある女児との出会いがありました。入園当初なかなか園生活に馴染めず、大泣きで登園するだけでなく、部屋に一人入ろうとしないのです。まだまだ、他の子どもたちも自分のことが満足にできない時期でしたので、もう一人の先生がクラスをまとめ、私がその女児と過ごすことが多くなりました。活動にも入れず園庭を散歩しながら気分転換をしたこともありましたが私たちが外にいる時には、相棒の先生が

部屋の扉を開けて部屋でどんな活動をしているのかわかるようにしてくれたので、中をのぞいては「今〇〇しているね。楽しそうだね!」とクラスに興味を持てるようにしてみました。

給食も、テラスにテーブルを出して、二人で食べたこともありました。これがいつまで続くのかと心配になっていた時、その女児が少しずつ泣くのをやめて私から離れ、一人で遊べるようになってきたのです。心にも大きな変化があったのかと驚くと同時に、希望が見えてきたのを覚えています。今では、大きな声で挨拶をして抱きついてきます。そして、自分で支度をして友達と遊べるようにもなりました。初めは信頼関係を作りたいと焦り、「泣き止ませなくちゃ!」と子どもの気持ちも考えず、自分の思いを押し付けるかわりが多くあったと思います。しかし、泣きたい気持ちを受け止め、寄り添い見守ることも大切なことだと学ぶ貴重な経験になりました。

子どもたちの成長を見ると、毎日根気よく続けること、親しみをもちながら接していくことが大切なのだと感じると同時に、幼稚園の先生がとてもやりがいのある仕事だと思えます。今はまだ、わからないことも多くありますが、いつも笑顔で子どもの気持ちをまっすぐ受け止められる保育者でいたいと思います。そして、私が感じたように幼稚園が楽しくて安心できる場所だと思ってもらえるように、これからも努力していきます。



夢を叶えて

神戸幼稚園

石田 怜子

幼稚園の先生になることは、私にとって小さな頃からの夢でした。幼稚園時代の大好きだった担任の先生に憧れ、今は母園の、一緒にの学年で保育をしています。

就職して初めての担任は年長児クラスでした。毎日を過ごすのに精一杯で、子ども達を上手にまとめることもできず、余裕がない自分に情けなさど悔しさから子ども達の前で涙を流すこともありました。

七年目の今は、初めて年少児クラスを受け持っています。初めての幼稚園生活を過ごす子ども達に、幼稚園に慣れてもらったり、楽しく生活ができるように保育をしたりするのは、思っていた以上に

難しく、悩みながらの毎日です。

しかし一年目の私と大きく違うのは心の強さです。これまででは、自分に自信がなく、失敗して落ち込むとなかなか気持ちの切り替えができなくて、消極的な考えばかりしてしまふことの多かった私ですが、この七年の間子ども達と過ごしてきた中で、少しずつ失敗を恐れずに取り組めるようになりました。それは、私が失敗しても変わりなく信じてくれ「担任の先生」に、純粹に真つ直ぐ



ついてきてくれる子ども達のおかげです。こんな私でも子ども達が必要としてくれることに気づき自信に繋がっていききました。

人前で話をするのが苦手な自信が無かった私ですが、保護者の方と上手に話をしている先輩の先生方を見ては自分の不甲斐なさを痛感していました。「先生なら

きつと分かってくれている」と思った。先生のおかげでこの子も私も幼稚園が大好きになりました「これは卒園時に、ある保護者の方からいただいた言葉です。この保護者の方とは子どものことで何度か相談を受けて話す機会も多かったのですが、微力ながらも私の

気持ちが伝わっていたことを感じることができて、とても嬉しかったです。

今の私には子ども達や保護者の方々、そして一緒に働く先生方に励まされ、ちょっとしたことで挫けない強さできました。これからも、まだまだ目の前の子ども達に教えてあげたいこと、一緒にやりたいことがたくさんあります。今度は私が憧れの先生となれるよう前向きに努めていきたいと思います。

子どもから学び続けて

大里東幼稚園

新田 訓子

憧れだった幼稚園の先生となり、早二十余年が経ちました。脳裏には、たくさんの子どもの笑顔が浮かんできます。

何もかもに必死だった初任者の頃は、先輩の見よう見まねで保育をすることで精一杯でした。「子どもの姿から何を読み取り、どう考えたらこんな援助ができるのか」と、先輩の頭の中を覗いてみたいと常々思っていたことが懐かしく思い出されます。

自分の力のなさに心が折れそうになると「自分が高まれば、その分子どもに返していける」「答えは子どもの中にある」と唱え、教わった

「子どもの何気ない姿を丁寧に見ていくこと」を心掛け、研修会で聞いた「過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と自分だけ」という言葉を時々思い出しては前向きになっていました。

この原稿を書く機会をいただき、改めて初任者の時の気持ちが自分の中核をなしていることに気付きました。

今年度は、クラスに支援を必要とするお子さんいます。子どもたち



が、共に生活する中で一人一人を知り、友達の喜ぶ姿に喜びを感じ、心を通わせていく姿には教えられることが多く感謝の毎日です。優しく声掛けをしたり、失敗に気付いて手伝ったりする姿はもろんのこと、できることは励ましたり、待つてあげたり、友達の頑張りと成長を互いに伝え合ったりも

していて、目を見張るばかりの子どもたちの成長に感激しています。

現在の私の大きな課題の一つが、このような日々の子どもの姿を丁寧に見取り、育ちを言語化して保護者や地域の方に伝えていくことです。子どもの成長を多くの人と喜びあえる環境を築きたいと思っています。

今でも卒園生が時々園に遊びに来てくれます。小学生はもちろん、大学生や社会人になった卒園生も笑顔で来園し、懐かしそうに子どもの頃の話をしてくれます。その幸せそうな表情に私もとても嬉しい気持ちになります。

幼稚園が心のふるさととして大切に位置づけられていることに幸せを感じながら、これからも子どもたち一人一人の成長のため、学び続けていきたいと思っています。

熱海市内散策

第17回の「街ぶらり」は、熱海市内のおすすめスポットを紹介いたします。



◆アカオハーブ&ローズガーデン

熱海駅から伊東方面へ車で15分ほどの場所にあります。今回は、ハーブなどの自然素材を使用した「ハーブ石鹸作り」を体験しました。初心者の方たちも一時間ほどでハーブの香り広がる石鹸をつくることができました。その他にも、ハーブ&フラワーコロン作りやオリジナルハーブティ作りが体験できます。



体験後は、20万坪の広大な土地いっぱいには広がる絵画のようなバラ園を散策しました。自然の景観とバラと人の調和のとれたバラの庭をぜひご覧ください。

さい。昼は、街中へ戻り魚屋さん直営の「魚ごころ 季魚喜人（きとぎと）」にて食事。地元の魚を堪能しました。

◆起雲閣（きうんかく）

起雲閣は、大正8年に別荘として築かれ、熱海の三大別荘と賞賛された名邸が基となり、昭和22年に旅館として生まれ変わりました。太宰治など日本を代表する多くの文豪たちに愛されていた旅館であり、日本屋敷の美しさをとどめる「和館」と日本・中国・欧州などの装飾や様式を融合させた「洋館」があります。現在は泊まることはできませんが、見ているだけで建物の



優雅な気品を感じ取ることができそうです。

◆来宮神社

来宮神社は来宮の地に鎮座して、来福・縁起の神として古くから信仰されています。この神社には大己貴命（おのおのもちのみこと）・日本武尊（やま



とたけるのみこと）・五十猛命（いたけるのみこと）が祀られています。本殿やその下の境内にはハートの形をした猪の目（いのめ）と呼ばれる文様を見ることができ、人気の撮影スポットの一つになっています。



の巨樹です。また大楠の横の高台には、自然を五感で感じることのできる《大楠五色の杜》があります。夜には160ものLED照明で杜全体がライトアップされ、幻想的な空間を散策することができます。境内にはカフェなどの売店も複数あり、《来福スイーツ》が販売されています。麦こがしなどの神社ゆかりの食材を使った品は、大変おいしく人気です。近隣商店街とも協力しているので、神社と駅を結ぶ来福ロードでも来福スイーツを楽しむこともできます。人々の信仰と熱海の街の情報発信のランドマークの一つとして、多くの人が参拝に訪れています。

おやまの幼稚園

認定こども園堀之内幼稚園

父母会副会長 山田聖子

我が家は恥ずかしがり屋でしつかり者の小学三年生の長女と、負けず嫌いだが不器用な年長兄の長男の四人家族です。

二人が通った幼稚園は通称「おやまの幼稚園・おやまのこと」呼ばれています。周りは緑に囲まれ、山の斜面に園舎が建っています。最初は山に囲まれているからこの名前で親しま

れていたとはかり思っていました。この「おやまのこ」は色んな意味が込められている事を子供達が通うようになってから分かりました。

まず、本物体験をすること。入園一か月後の山の探検。親も躊躇する程の傾斜。もちろんどんどん登る子もいれば大泣きする子も沢山。心配をよそに我が子はどんどん進んでいく姿に驚くばかりでした。ただ経験をさせこなすのではなく、三年間で何度も行われる探検には、全てに物語があります。子供達は物語に入り込み、「あの山にはやまんばがいる!」「あそこは泥棒がいるから静かに歩くんだよ!」と想像を膨らませて歩く探検は、子供達は本当に大好きです。今も長女は探検の話をよくしてくれます。



また年長兄に憧れを抱く姿もとてもよく見られます。「黄色い帽子のきいさん早くなりたい!」「きいさんになつたらずいんだよ!」と口を揃えて子供達が言います。年長兄には一番難関の山の探検が待っています。それは年中兄の時から先生が話を始め、数か月かけて本番に挑みます。長女は不安よりも楽しみの方が大きく挑んだ難関の山。それに比べ長男は物語に入り込み過ぎたせいか、一か月前からお腹の調子が悪く、何

度も病院へ行く程、とても緊張していました。年中の時には絶対行かない!と宣言していた探検も、当時のきいさんに「この山に行かなければ本当のきいさんにはなれないぞ!」と言われていた息子は、その言葉を胸に当日は薬を飲み、自ら行くことと決意しました。息子も私も緊張していた当日朝に、担任の先生から「絶対行けると信じていたよ」と声をかけてもらい、緊張から自信に変わった時の息子の顔を今でも忘れません。

他にも沢山の本物体験をさせてくれる幼稚園にとっても感謝をしています。いたずらをしてでも大笑いしてくれる園長先生。どんな姿を見てもさすがおやまのこ!と笑ってくれる保護者。おやまの子は伸び伸びと育っています。残り少ない幼稚園生活になり、とても寂しいですが、手を繋ぎ一緒に登園できる時間を、大切に大切にしたいと思います。

家族の時間・私の時間

加藤学園幼稚園

こぼとの会会長 椿 真吾

皆さんはお子様と過ごす時間はどんなことをしていますか?そして、どんな気持ちでしょうか?週末は公園に出かけたり、自宅で一緒におもちゃで遊んだりでしょうか?遊ぶことに疲れを知らない子供との時間は体力勝負!

ときには「週末がしんどい!」なんて思ったりするのではないのでしょうか?斯く言う私も次から次へ興味の赴くまま動き



の趣味であるカメラで娘を撮っていたら「撮られる」よりも「撮る」ことに娘が関心を持ち始めました。

普段使っている眼レフを触りたがりでしたが「まだ難しいから大きくなったからね」と言い聞かせていました。しかし娘の好奇心は収まりません。そこで、だいぶ前に使っていたコンパクトカメラを与えてみると、操作をしっかりと理解し撮影することができました。最近では親ばかと言われてしましますが、小さめの一眼レフを娘用に準備し、2人して首からカメラを提げて散歩の時間を楽しんでいます。

娘とそんな時間を過ごせることに、私が喜びを感じるの言うまでもありませんが、娘も「子供にはまだ早い」とおあずけされていた事に触れることができて、「知りたい!」「やりたい!」という気持ちに火が付いたように思います。今は「こう撮るといいよ」とアドバイスをする立場ですが、いつかは「こう撮った方がいいんじゃない?」なんてアドバイスをされる日が来るのかな?などと想いを巡らせて、できることならいつまでも一緒に遊んでいたいと淡い夢を抱いています。

間をかがえのないうのにしたいという想いに駆られました。とはいえ、やはり娘とお人形遊びをしても、心から共感したり喜びを感じたりするのは難しいもの。そんな時、娘が幼稚園に入園して間もなく、私

楽しくできる ラクチン食育

末永 美雪



長野県生まれ。
静岡県立静岡女子大学 食物学科を卒業後
静岡県厚生病院栄養科に栄養士・管理栄養士として勤務。
その後、静岡県立大学 食品栄養科学部、静岡県立大学 環境科学研究所、常葉学園中学・高等学校、静岡英和女学院高等学校、静岡市立高等学校、などで研究室非常勤助手や教員として勤務。
H12 年 4 月から、東海大学短期大学部 食物栄養学科 教授
H28 年 4 月から、静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科・社会福祉学科介護福祉専攻非常勤講師
専門分野は、臨床栄養学・栄養教育（栄養指導）
研究テーマは「食育」特に乳幼児期と高齢期の食事と健康

【その2】

得意な分野でラクチン食育

あなたの先生としての得意分野は何でしょうか？

楽器演奏やピアノが得意で歌が上手でしょうか？絵を描くことや図画工作が得意でしょうか？跳んだり走ったり体を動かして運動することや、リズム体操が得意でしょうか？何か1つ得意な分野があると自信になりますね。自分らしい食育をしようと思ったら、新たに学び直すことも大切ですが、自分がこれまで培ってきた得意分野を活かすことで、十分専門性を発揮した食育活動ができます。

事例をご紹介します

園長先生からA子さんに日常の保育活動に「食に関わる体験が広がるよう工夫した、園独自の特徴ある食育活動をするように」と要請がありました。A子さんは運動もピアノもあまり得意ではありませんが、絵を描くことは好きでした。そこで、絵を描くことで食育を試みることにしました。

手順1

季節の果物を1つ決める。
今回は、今が旬な秋の果物リンゴにしました

手順2

リンゴについての情報をインターネットで検索する。

リンゴの生産地、種類、育て方、木や葉の形・色、花の咲く時期、花の色や形、匂い等です。

手順3

スーパーマーケットや八百屋でリンゴについて調査開始。赤、黄色、緑色の3つのリンゴを購入しました。

手順4

大きな紙にリンゴの木のアウトラインを描く。但し色は塗りません。

手順5

リンゴについてのお話を子どもたちにします。
リンゴの生産地、種類、育て方、木や葉の形・色、花の咲く時期、花の色や形などです。

手順6

子どもたちに実際の3つのリンゴの匂いを嗅いだり、手に持ったり、色や形の違いを体験してもらいます。

手順7

子どもたちと絵のリンゴの木の葉や幹・枝に色を塗る。
更に自分の好きなリンゴの絵を描き、切り取ってリンゴの木に貼る。

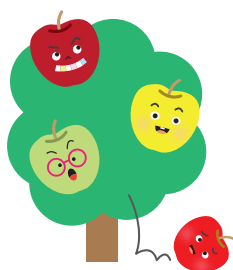
手順8

おやつ時間にリンゴを試食する。

食育が大変幅広い内容を含んだものであることは前回お話ししました。ここでは、子どもたちが先生からリンゴについてのお話を耳で聞いて、直接リンゴを目で見て、手で触って、握って重さを感じて、鼻で匂いを嗅いで、リンゴの絵を描いて、食べて味わってみるという一連の活動を通じて、五感を使って創意工夫した独自の食育活動となっています。担当したA子さんにとって得意分野を活かした活動であったため、負担は

少なかったと考えられます。例では、リンゴをそのまま生で食べましたが、調理員や栄養士の協力を得れば、リンゴのコンポートやアップルパイなども提供可能でしょう。そうすればこれは更に園の施設・設備環境を有効利用した事例ともなります。子どもが自らの感覚や食材に触れる体験を通して、自然の恵みとしての食材や自然環境への意識を高め、調理する人との関わりを持つことで食に係る保育環境に配慮した食育活動となっています。

また、友達や先生と一緒に作品を作る喜びも体験できます。子どもたちが保育という生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ねることは、豊かな人間性を育む上で大切なことです。あなたも是非得意な分野を活かして無理なくラクチンに食育を進めていきましょう。





明治時代になると西洋の文化・科学技術・医学等が日本に入ってきました。東洋の医学を学んできた帝国陸軍軍医監の石塚左玄は、東洋の陰（広がる力・遠心力）と陽（収縮する力・求心力）のバランスを基本とする

陰陽論の食物分類(代表のみ)
陰性：広がる力・遠心力が強く、k多い。暑い暖かい地方や氣候に育つ。早く育ち大きく軟らかく水分多い。

タマネギ・自然塩・天然素材使用の添加物のない醤油・味噌・梅干・沢庵漬等の漬物・魚はタイ・イワシ・アジ・ヒラメ等の近海魚・ゆつくり動くエビ・カニ・貝類・川魚は比較的中庸に近いが程々に食べること。

医学を西洋医学の分析等に基づいて、陰陽の基本を成すものは何かを研究し、Na(ナトリウム)とK(カリウム)が基本になつて

茄子・トマト・生シイタケ・ジャガイモ・バナナ・パイナップル等果物類・ワサビ・コショウ・トウガラシ等香辛料・豆乳・アルコール類・コーヒール・砂糖・酢・化学調味料や合成添加物。これらはできるだけ避けたり、季節を考え摂り過ぎに注意が必要。中庸に近く食事に取り入れた方が良い陰性食物は、麦類・うどん・里イモ・ネギ・干しシイタケ・大根・白菜・キュウリ・小松菜・海藻類・豆腐・油揚げ・ガンモドキ・小豆・ゴマ・緑茶・ゴマ油・菜種油・オリーブ油・ベニバナ油

私たちは陰陽は知らなくても、自然に陰陽の調和を取っています。陰性の強いトマトに陽性の塩をつけて食べるのはその一例です。

米と麦

米と麦を比べると、米の方が陽性で硬く粒で食べられます。粳穀(もみから)を除いた玄米でも水に浸しておくと芽が出ます。それだけエネルギーが強いことを示します。だから米食文化の日本人は、御飯・味噌汁・漬物・季節の野菜に少々魚(近海魚・川魚)の食事で歴史を刻み文化を築いてきました。そして日本のその基本的な食事は、ユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。他方、麦は米より陰性で軟らかく粒では食べられず粉食(こなしよく)になります。パンや麺類です。米程のエネルギーはないので副食で補い、必然的に陽性の強い肉食が多くなります。米も精米して白くする程陰性になり、炭水化物が多く他の栄養素がなくなるので陽性

の副食が多くなります。
おむすびとおにぎり
同じ物なのに呼び方が二つあります。昔は使い分けていたようです。祝い事・めでたい事のもてなしに提供するときには「おむすび」と言いました。結び合うの意味からです。また「むす」は「産す」で産まれるの意味です。生まれた子は「むす子」、女なら「むす女(め)」と言いました。火事や災害のとき手助けに来た人に提供するときには「おにぎり」でした。不幸を握りつづすの意味からです。

秋茄子《なす》は嫁に食わすな

茄子は陰性が強く、細胞を弛緩させる力が働き暑い季節においしい野菜です。秋は残暑があり茄子はおいしいが、冬が近く次第に細胞を引き締めていかなければなりません。お嫁さんは子どもを産み育てる大事な体です。おいしいからと細胞を弛緩させる力が働く茄子をいつまでも食べていたら流産しやすくなります。お嫁さんを労わる老人の知恵の言葉です。陰陽は知らないが体験的に分かっていたのでしょう。嫁いびりではありません。



命活動全体から判断して予防や治療をします。そういう視点に立てば、あれが効く・これが効くと部分だけを見て安易にサプリメントを口にして、一時的な効果があったとしても普遍的なものでないことは容易に想像できます。

陽性：収縮する力・求心力が強く、Na多い。寒い涼しい地方や氣候に育つ。成長ゆつくりで小さく硬く、水分少ない。
マグロ・サバ・ブリ等の遠海物・牛肉・豚肉・マトン・トリ肉・卵類・精製塩。これらはできるだけ少なく食べ、陰性の物との組合せで調和を取る。食事に取入れれた方が良い陽性食物は、自然薯(じねんじょ)・ゴボウ・レンコン・ニンジン・カボチャ・



スタートはまかせろ!いくぞ!!



かわいいね~!そとなでてみるとフワフワだよ♥



ジャック・オ・ランタン作り

これ食べれる?



お芋いっぱいとれたよー♥



手が芝生みたいになっちゃた~!



パワーいっぱい大成功!



どんぐりひも通し



牛さんは干し草を食べるって

ほんとかな?



みて!みて!アザラシおっきいねー♪



個性的な生け花作品、素敵でしょ

【編集後記】

10月より保育料無償化が始まり、保護者だけでなく園側にとっても大きな変化の年になりました。この大きな変化の中でも園児たちは大きく育っていきます。

12月には生活発表会などの大きなイベントを行う園が多くある中、私たち教育者は子どもたちの成長というものに驚かされるばかりです。

入園当初泣いていた年少さんも今では落ち着き凛々しい姿を見せ、年中さんや年長さんはより大きく立派に成長した姿を見せてくれます。

そんな子どもたちの更なる成長を今後も長く見守っていただける環境づくりをしていかなければと思います。

広報委員/双葉幼稚園 横山政俊



このQRコードを携帯電話の「QRコードリーダー」で読み込めば、協会HPの携帯サイトにそのままアクセスできます。